

Q、

足の爪の水虫に、市販の液状の塗り薬を使っていましたが、なかなかよくなりません。何かいい薬はないでしょうか。

A、

日本人の10人に1人が悩んでいるといわれる「水虫」。ありふれた病気なだけに自己治療をくり返したあげく、水虫は治らないと思いついでいる人は意外と多いようです。現在はよく効く薬もありますから、きちんと使って治療すれば、水虫はむしろ治りやすい病気といえるのですが…。

水虫とはいっても、「虫」が原因というわけではありません。白癬菌というカビが皮膚のいちばん表面の角質に感染しておきる病気で、水虫にかかった角質を削って顕微鏡で見れば白癬菌を見つけることができます。

また、一口に水虫といってもその症状はさまざまです。最もポピュラーなのは足の水虫ですが、その足の水虫をきちんと治療せず長年そのままにしておくと、白癬菌が爪にも感染して爪の水虫に進行してしまいます。そうになると、塗り薬ではほとんど効果がありません。爪の水虫を治すには、白癬菌に効果のあるのみ薬(抗真菌薬)<sup>注</sup>をのむ必要があります。

注:

抗真菌薬ののみ薬はぬり薬と違い、薬局の店頭で販売されていません。医師の診断をうけて処方してもらう必要があります。